

追加関連論文

(アスパルテーム；ネオテーム関係)

- 1 . Soffritti M, Belpoggi F, Esposti DD, Lambertini L. Aspartame induces lymphomas and leukaemias in rats. *Eur. J. Oncol.* (2005) 10:107-116. . . . P 1

広く使用されている人工甘味料であるアスパルテームを 8 週齢の SD ラット (各群雌雄各 100 ~ 150 匹) に混餌投与 (0、80、400、2,000、10,000、50,000、100,000 ppm) し、動物が自然死するまで継続した。その結果、雌においてアスパルテームの投与に関連したリンパ腫と白血病の誘発が統計的に有意にみられた。また、対照群と比較して統計的に有意ではなかったが、悪性脳腫瘍が観察された。

- 2 .Soffritti M, Belpoggi F, Esposti DD, Lambertini L, Tibaldi E, Rigano A. First Experimental Demonstration of the Multipotential Carcinogenic Effects of Aspartame Administered in the Feed to Sprague-Dawley Rats. *Environmental Health Perspectives.* (2006) 114: 379-385. . . . P 11

広く使用されている人工甘味料であるアスパルテームを 8 週齢の SD ラット (各群雌雄各 100 ~ 150 匹) に混餌投与 (0、80、400、2,000、10,000、50,000、100,000 ppm) し、動物が自然死するまで継続した。その結果、アスパルテームを現行の ADI よりも低い 20 mg/kg 体重/日摂取した場合においても、多臓器発がん性を示した。よって、現行のアスパルテームの使用に関するガイドラインを至急再評価すべきであり、先送りしてはならない。

- 3 . Opinion of the Scientific Panel on Food Additives, Flavourings, Processing Aids and Materials in contact with Food (AFC) on a request from the Commission related to a new long-term carcinogenicity study on aspartame. *The EFSA Journal* (2006) 356: 1-44. . . . P 19

EFSA の Scientific Panel (AFC) は、2005 及び 2006 年に European Ramazzini Foundation of Oncology and Environmental Sciences (ERF) が発表した発がん性試験に関する論文について評価し、2006 年 5 月 5 日にその結果を公表した。結論として、アスパルテームの現行 ADI 40 mg/kg 体重/日を変更する必要はないとした。

(以下のアドレスから入手可能)

http://www.efsa.eu.int/science/afc/afc_opinions/1471/afc_op_ej356_aspartame_en1.pdf